

教習ハンドブック



車 種	普通車(AT/MT) 準中型車	教習生番号	
氏 名			

土浦 **北インター** 茨城県公安委員会指定 自動車学校

〒300-0061 茨城県土浦市並木 5 丁目 5426

Tel. 029-831-1290 Fax. 029-831-1287



IAC Driving School

土浦北イン ター自動車学校



LINE公式アカウント



卒業までの不安を解決できる！
合宿生ゲリライベント情報がわかる！
特別授業の実施日がわかる！



その2

学校生活で
必要なルールを
確認できる！

その4

TikTokで
技能・学科の
実演が観れる！

その1

チャットで
質問にお答えします！

その3

教習の攻略サイトを見て
検定一発合格！



目 次

避難経路について	
運転免許制度について	
教習予定表の見方について	
入校から卒業までの流れ	
運転適性検査について	
学科教習の受講について	
技能教習の受講について	
第1段階 基本操作及び基本走行	
動力を伝える仕組み(MT車・AT車)	
車の乗り降り、手順	
AT車の特性・カーブの走行	
曲がり角の通り方	
状況に応じた速度の調節について	
停止目標に合わせた速度の下げ方	
進路変更と交差点の左折・右折	
徐行	
視覚特性・場内練習コース	
安全確認あれこれ・合図を行う場合の時期と方法	
歩行者の保護など	
無線コース1、2	
狭路の通行	
切り返し・やり直しの仕方	
みきわめコース	
【準中型車】	
修了検定及び仮免許学科試験について	
第2段階 応用走行	
安全な車間距離の目安	
駐車と停車	
縦列駐車	
方向変換	
幅寄せの仕方	
危険を予測した運転	
高速道路での運転	
卒業検定について	
二輪車関係の重要ポイント	
個人情報の取り扱いについて	

避難経路について

火災及び災害発生時には慌てずに、職員の誘導に従って下記の避難経路より避難してください。

館内ご案内



教習受講時のお願い

学科教習・技能教習受講の際は、眼鏡等の条件および履物（かかとの高い靴、サンダル、クロックス等は不可）の準備を整えてお待ちください。応急救護処置の際には、実技が伴いますので服装にはご注意ください。

運転免許制度について

	普通自動車 	準中型自動車 	中型自動車 	大型自動車 
車両総重量	3,500kg 未満	7,500kg 未満 3,500kg 以上	11,000kg 未満 7,500kg 以上	11,000kg 以上
最大積載量	2,000kg 未満	4,500kg 未満 2,000kg 以上	6,500kg 未満 4,500kg 以上	6,500kg 以上
乗車定員	10 人以下	10 人以下	29 人以下 11 人以上	30 人以上
大型免許	○	○	○	○
中型免許	○	○	○	
準中型免許	○	○		
普通免許	○			
取得可能年齢	18 歳以上	18 歳以上	20 歳以上※1	21 歳以上※2

(※1) 普通免許等の保有が通算して 2 年以上。(※2) 普通免許等の保有が通算して 3 年以上。

★(※1)(※2)においても、「受験資格特例教習」を修了した方は、受験資格要件が年齢 19 歳以上、普通免許等の保有が 1 年以上に緩和されます。

18 歳以上であれば、最初から準中型免許の取得が可能！

平成 19 年 6 月 2 日から平成 29 年 3 月 11 日の期間に取得した

「普通免許」は「準中型免許（5 t 限定）」

「AT 限定普通免許」は「AT 限定準中型免許（5 t 限定）」

に変わりました。「準中型免許（5 t 限定）」で運転できる車両の大きさは、車両総重量は 5,000kg 未満、最大積載量は 3,000kg 未満、乗車定員は 10 人以下となります。

教習予定表の見方について

○これから教習を開始するにあたり、教習予定表の見方をご説明いたします。

・入校初日は

【入校式】入校式(オリエンテーション)

【適性検査】運転適性検査(OD式)

【1】学科教習の第1段階1の学科と3時間連続しての受講となります。

・予定表内の数字は学科教習です。

学科が行われる教室は、待合室のモニターで確認して、時間までに教室に入ってお待ち下さい。

・学科の第1段階は【1】～【10】、第2段階は【11】～【26】です。

【セット①】は【11】で、学科教室は指導員が指示します。応急処置配置は

【応急①】が【12】、【応急②】が

【13】、【応急③】が【14】で3時間連続で受講します。教室は3時間共に第2教室となります。

・【●】は技能教習です。手帳のバーコードを配車機に読み込めると配車券が出力されます。配車券に担当教習指導員名が印字されます。教習開始前に教室横ロビーでお待ち下さい。その他に【●複数】は、複数教習(教習生が2～

3名)、【●シミュ】は、運転シミュレーターによる教習、【●高速】は、高速教習(実車)となります。

・【個別効果】又は【白器】は、学科試験対策のための模擬試験です。合宿生はお部屋で勉強しても構いません。

★送迎バスをご利用の方は、バスキャッチ(れんらくアプリ)よりご予約してご利用いただきます。詳しくは受付スタッフにご相談ください。緊急連絡は送迎代表(080-6606-0352)、茨城けんなん自動車学校(0120-881-419)までご連絡ください。

★教習予定表に変更がある場合(教習が延長になった場合や自己都合で教習を受講できなかった場合)や無断キャンセルの場合等は、卒業日が大幅に延びることがありますのでご注意ください。教習予定の変更は受付窓口でご相談ください。

日付 曜日	01 月	02 火	03 水	04 木	05 金	06 土	07 日	08 月	09 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水
1 9:10 ～ 9:20				●	●	●	● 入校式					● セット①		● 複数		●	卒業式
2 9:10 ～ 9:20		● 入校式	● 9	● 10	● 3	●			●			● セット①		● 応急①			
3 10:10 ～ 11:00		●		●	●	● 個別効果				25		16	17	● 応急②		19	
4 11:10 ～ 12:00		● 1	●			● 高速			●			●	● 複数	● 応急③		●	
5 12:10 ～ 13:00			4	5	6	7	● 仮学試験									● 個別効果	
6 13:10 ～ 14:00			●		● 高速				18	20		22	23	24			
7 14:10 ～ 15:00	●							●				● シミュ	● 複数	● 高速			卒業式
8 15:10 ～ 16:00		● 3						●					● 複数	● 複数			
9 16:10 ～ 17:00		●						21		●			26				
10 17:10 ～ 18:00								●				● 高速	● 高速				
11 18:10 ～ 19:00								15		●							
12 19:10 ～ 20:00										●							

入校から卒業までの流れ

普通車(免許なし・原付所持)



運転適性検査について

皆さんのまわりで起きている交通事故の原因の一つに、運転者自身の性格や気質が大きく関係していると言われています。皆さんが今後運転をして事故を起こさないようにするためには、自分自身の性格や素質をよく理解し、それらに応じた運転をする必要があります。この運転適性検査は、その気付かない性格を自分自身で知っていただき気をつけることにより、事故防止に役立てていただくものです。また、技能教習を効果的に進めるためにも活用しますので、入校後すみやかに受けていただきます。運転適性検査後に、結果はすぐにお渡しいたします。

運転適性検査結果は、第2段階の学科 16（適性検査結果に基づく行動分析）で使用しますので、大切に保管してください。

効果測定について

教習予定表に示される「個別効果」「自習」は、仮免許学科試験または、卒業後運転免許センターでの本免学科試験に一発で合格できるようするための模擬試験です。**特に仮免学科試験に不合格になると教習予定が変更になり、卒業予定日が大幅に遅れることがあります。**仮免・本免の学科試験の一発合格を目指して学習し、分らないことは何でも質問しましょう。時間外に個別で実施することもできますので、時間を有効活用しましょう。

学科試験に向けての自己学習について

自宅等での自己学習サポートツールとして「エイトラーニングシステムSS」をご活用ください。スマホ等でQRコードを読み取り簡単にアクセスできます。入校時にお渡ししてあるIDとパスワードを入力してログインします。本免学科試験の学習に向けては、受験地（住所地）を設定できます。受験地の都道府県設定は一度だけで、一度設定すると、その後変更はできませんので注意してください。最初のログインから270日間ご利用いただけます。



Eito Learning System SS

エイトラーニングシステムSS自己学習用ページ
URL : <https://ikn.8-ss.jp/>



学科教習の受講について

○学科教習は、学科教本の教習項目を組み合わせた履修番号（教習予定表の番号）で進めます。教習手帳の教習計画表のページをよく見て間違いないように受講してください。二輪車や大型特殊免許所持の方も受講しなければならない学科があります。下表をご覧ください。

教習項目と履修番号の組み合わせと所持免許に対する受講学科

	第1段階（10時間）										（普通車）
履修番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
教習項目	1	2	3	4	5,7	6	8	9,10	11,12	13,14	
なし・原付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二輪車											
大型特殊											

	第2段階（16時間）															
履修番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
教習項目	1,18	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12,13	14,15	16	17	
なし・原付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二輪車	○															○
大型特殊	○	○	○													○

準中型車の教習には、準中型自動車での急旋予測(履修番号 11)がもう1時間あります。

○学科教習を受講するには、教習手帳が必要です。忘れないように準備してください。学科教室は、教室棟ロビーモニターをご覧ください、教室を間違えないように入室して教習開始を5分前までに待ってください。担当指導員が教習手帳を回収して、教習印を押してからお返しします。教習手帳を受け取ったら、受講学科と教習印を必ずご確認ください。

○第2段階の学科 12～14（応急救護処置）は、第3教室に入室してお待ちください。応急救護処置は実習が伴いますので、動きやすい服装で受講してください。3時間連続での受講学科となります。

○学科教習受講の際には携帯電話の電源を切り、他の方の迷惑にならないよう静かに受講しましょう。

技能教習の受講について

- 技能教習を受けるには、教習手帳についているバーコードが必要です。次の技能教習予約の乗車手続きが可能「緑」になったか、配車カードリーダーのモニターを確認して乗車手続きを行ってください。教習開始の10分前までには、手続きを済ませてください。まとめて3時間先まで配車券を出すことができます。
- 10分を過ぎてしまうと、スケジュールをキャンセル若しくは変更させていただく場合があります。場合によりキャンセル料が発生しますので時間厳守でお願い致します。

第1段階 基本操作及び基本走行

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. 車の乗り降りと運転姿勢 | 13. 障害物への対応 |
| 2. 自動車の機構と運転装置の取扱い | 14. 標識・標示に従った走行 |
| 3. 発進と停止 | 15. 信号に従った走行 |
| 4. 速度の調節 | 16. 交差点の通行（直進） |
| 5. 走行位置と進路 | 17. 交差点の通行（左折） |
| 6. 時機をとらえた発進と加速 | 18. 交差点の通行（右折） |
| 7. 目標に合わせた停止 | 19. 見通しの悪い交差点の通行 |
| 8. カーブや曲がり角の通行 | 20. 路切の通過 |
| 9. 坂道の通行 | 21. オートマチック車の運転（AT車） |
| 10. 後退 | 22. オートマチック車の急加速と（21）
急発進時の措置 |
| 11. 狭路の通行 | 23. 教習効果の確認（みきわめ）（22） |
| 12. 通行位置の選択と進路変更 | |

動力を伝える仕組み（MT車）

○クラッチペダルの役割

エンジンの回転をタイヤに伝えたり、切りはなしたりする装置で、クラッチペダルを踏んだり戻したりする操作をします。



クラッチ板がはなれ駆動軸に動力が伝わらない クラッチ板がくっつき動力が伝わる

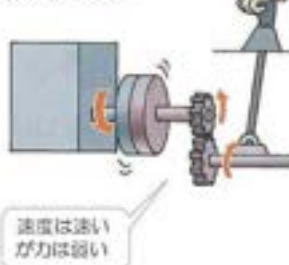
○変速ギアの役割

ギアの組み合わせを変え車の速度や力を変えたり、バックさせたりします。

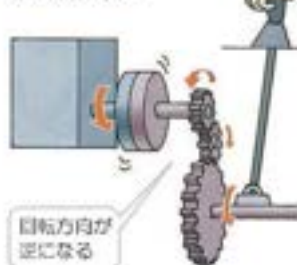
○ローギア



○トップギア



○バックギア



動力を伝える仕組み（AT車）

エンジンの回転をタイヤに伝える装置で、オイルで満たしたケースの中のオイルの流れる力で羽根に動力を伝えます。



車の乗り降り、手順

【車に乗るとき】

AT車

MT車共通

- ・車両後部の死角（車両底部も）確認
- ・後方からの車両に注意しながら道路に出て
車両前方の死角（車両底部も）確認
- ・後方からの車両に注意しながら乗車
- ・ドアは手前で一度止め（10cm程度）確実に閉める



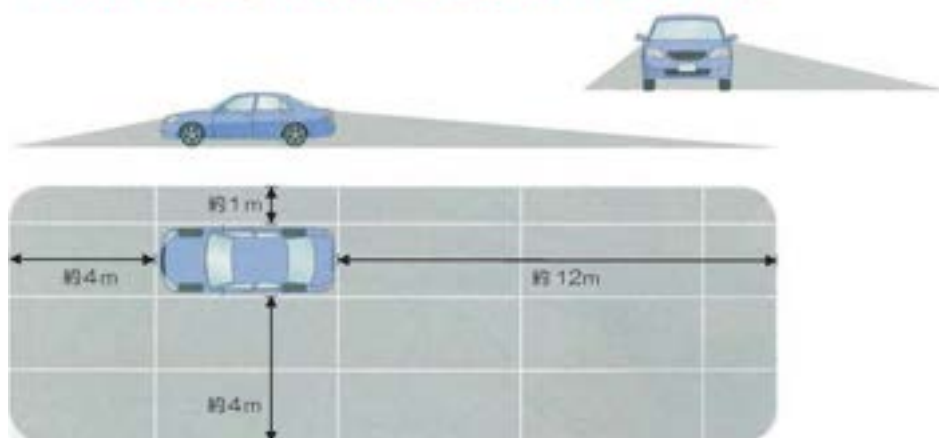
【なぜ車の周囲を確認してから乗車するのか？】

乗車すると運転席からは見えない範囲が多くあります。

この見えない部分のことを「死角」といい、死角の大きさは車の種類や運転者の体格によって異なります。

下図のように車にはこれだけの死角があることを意識しましょう。

※車の下に子供等がいないことを確かめることも重要です。



※自宅の敷地内（駐車場や車庫）に車を取り入れる際や、道路に出ようとする際の事故が意外に多く発生しています。いつものことで慣れているからといって確認を怠ると、大きな事故に繋がることがあります。

【運転席に座ったら】**AT車****MT車共通**

- ・ドアロックをする
- ・座席(高さ、前後、背当て)の調整、ハンドル(高さ、前後)の調整
- ・ルームミラーの調整
- ・シートベルト着用

【エンジンをかけるとき】 AT車**MT車**

- ・ハンドブレーキが確実に引いてあるか確認
- ・ブレーキペダルを踏む
- ・P(パーキング)を確認
- ・エンジン始動
- ・サイドミラーの調整
- ・クラッチ・ブレーキペダルを踏む
- ・ニュートラルを確認
- ・エンジン始動
- ・サイドミラーの調整

【発進するとき】**AT車****MT車**

- ・周囲の安全確認
(左後方から右後方)
- ・右に合図を出す
- ・D(ドライブ)に入れる
- ・ハンドブレーキを戻す
- ・周囲の安全確認(左後方から右後方)後に発進
- ・右に合図を出す
- ・ローギアに入れる
- ・ハンドブレーキを戻す
- ・周囲の安全確認(左後方から右後方)後に発進

【停止するとき】**AT車****MT車**

- ・目標に合わせて停車する
- ・ハンドブレーキを引く
- ・ギアをPに入れる
- ・エンジンを停止する
- ・ブレーキペダルから足を離す
- ・目標に合わせて停車する
- ・ハンドブレーキを引く
- ・ギアをニュートラルにする
- ・エンジンを停止する
- ・ギアをR(又は1)に入れる
- ・クラッチ・ブレーキの順に足を離す

【車から降りるとき】**AT車****MT車共通**

- ・座席を手前に戻す
- ・周囲の安全を確認する
- ・特に後方に注意してドアを少し開ける
- ・ドアを支えて素早く降りる
- ・ドアを閉める際は手前で一度止め確実に閉める
- ・キーにてドアをロックする
- ・車両の前方から回る



A T車の特性

■クリープ現象とは

エンジンがかかっている時にチェンジレバーがP又はN以外の位置で、ブレーキをゆるめるだけで自然に車が動き出すことをいいます。

※特にエンジンを始動した直後やエアコン作動時は、エンジンの回転が高くなり、クリープ現象により車が動き出すことがあるので注意しましょう。

■MT車よりもエンジンブレーキがききにくい

エンジンブレーキとは、アクセルを戻した時に自然に速度が落ちてくることをいいます。低いギア程エンジンブレーキは強くききます。AT車の通常走行はD（ドライブ）レンジを使いますが、そのDレンジのままではエンジンブレーキはききににくく、Dレンジの下（手前にある2やL又は1）のレンジに入れることによりエンジンブレーキをきかせる事ができます。

■急加速の仕方

高速道路で本線に進入する時等、チェンジレバーが「D」の状態で行走中にアクセルペダルを一気にいっぱいまで踏み込むと、自動的に低速ギアに切りかわり短い距離で勢いよく加速することができます。

■段差路での急発進の体験

段差を乗り越えるときにアクセルを強く踏むと、急発進して事故に繋がる場合があります。アクセルの踏み込み方や確実なブレーキ操作を体験します。

カーブの走行

【右カーブの走り方】



【左カーブの走り方】



曲がり角の通り方

○曲がり角に入る前

曲がり角が見える
うちにしておく



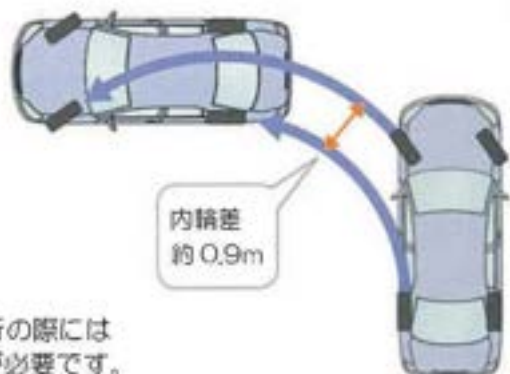
○曲がり角の入口

見えている部分から死角
の部分をイメージする



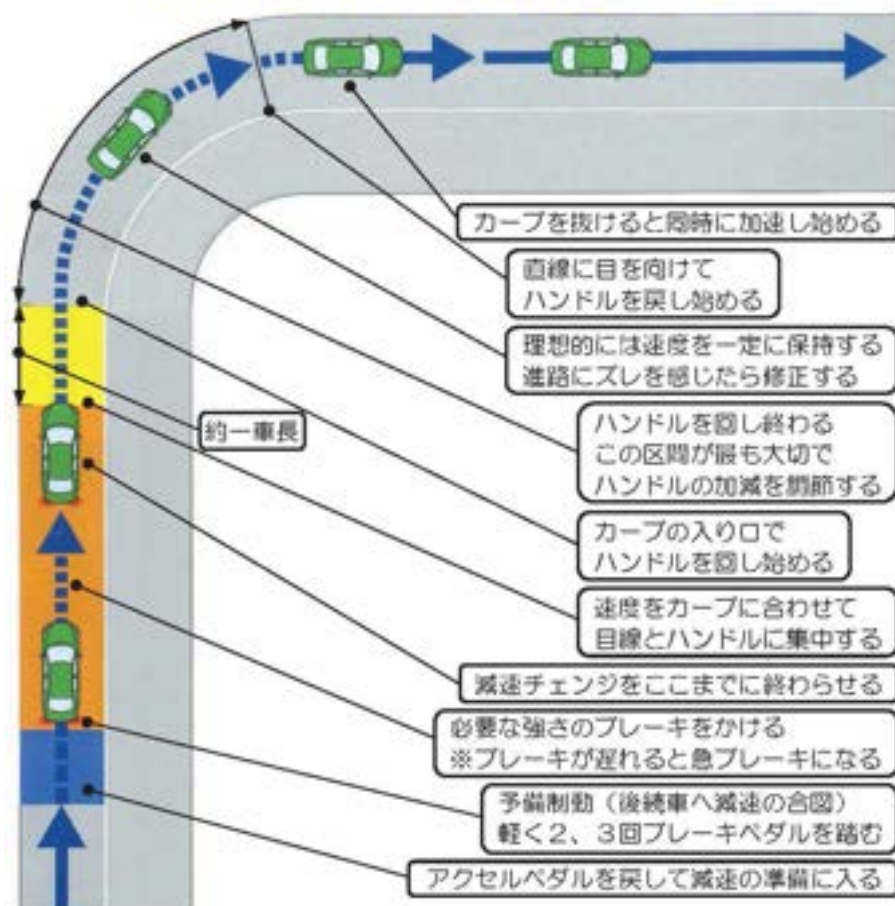
■内輪差を考えよう

内輪差とは車が左や右に曲がる時に生じる、内側の前輪と後輪の通行位置の差をいいます。前輪よりも後輪が内側を通るので、乗り上げや接触などに注意しましょう。



特に狭路（Sやクランク）の通行の際には
内輪差を意識したハンドル操作が必要です。

状況に応じた速度の調節について

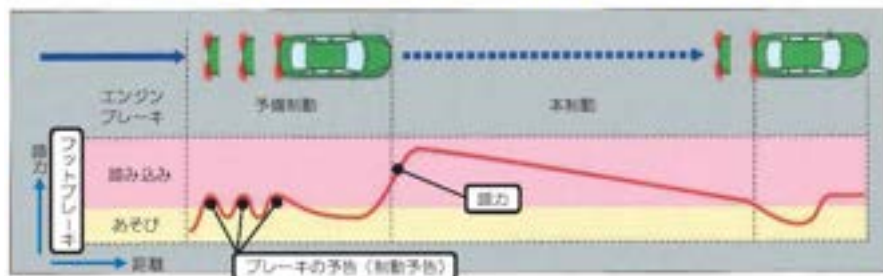


減速チェンジとは

カーブを曲がる際や右左折の際には、その曲がり具合に合わせた速度に減速します。そして、現在使用しているギアから減速したその速度にあったギアに落とすこと（4速⇒2速など）を減速チェンジといいます。減速チェンジは、落とした速度にあったギアを選ばよく、順番にギアを落としていく（4速⇒3速⇒2速⇒1速）必要はありません。

十分に速度を落とさないままギアだけを落とすと、強いエンジンブレーキがかかり危険な場合があったり、ギアチェンジが遅れるとノッキングやエンストを起こしたりすることもあります。

停止目標に合わせた速度の下げ方



安全に停止するには、一気に強くブレーキペダルを踏むのではなく、エンジンブレーキを併用して、始めは後続車に注意をうながすため、十分手前でブレーキペダルを軽く2～3回踏んでブレーキランプを点滅させ、次に必要な制動力が得られるまで徐々にブレーキペダルを踏みこみます。速度が落ちてきたら、踏み込む力（踏力）を徐々にゆるめ、最後は停止目標に合わせてブレーキの踏み加減を調整します。

エンジンブレーキとは

エンジンの回転を利用したブレーキのことで、ギアをシフトダウンすると、車輪が回り続けようとするのに対して、エンジンの回転が遅くなるため、抵抗となってブレーキがかかったようになることをいいます。マニュアル車ではクラッチペダルを踏むとエンジンの抵抗がなくなるので、エンジンブレーキはきかなくなります。

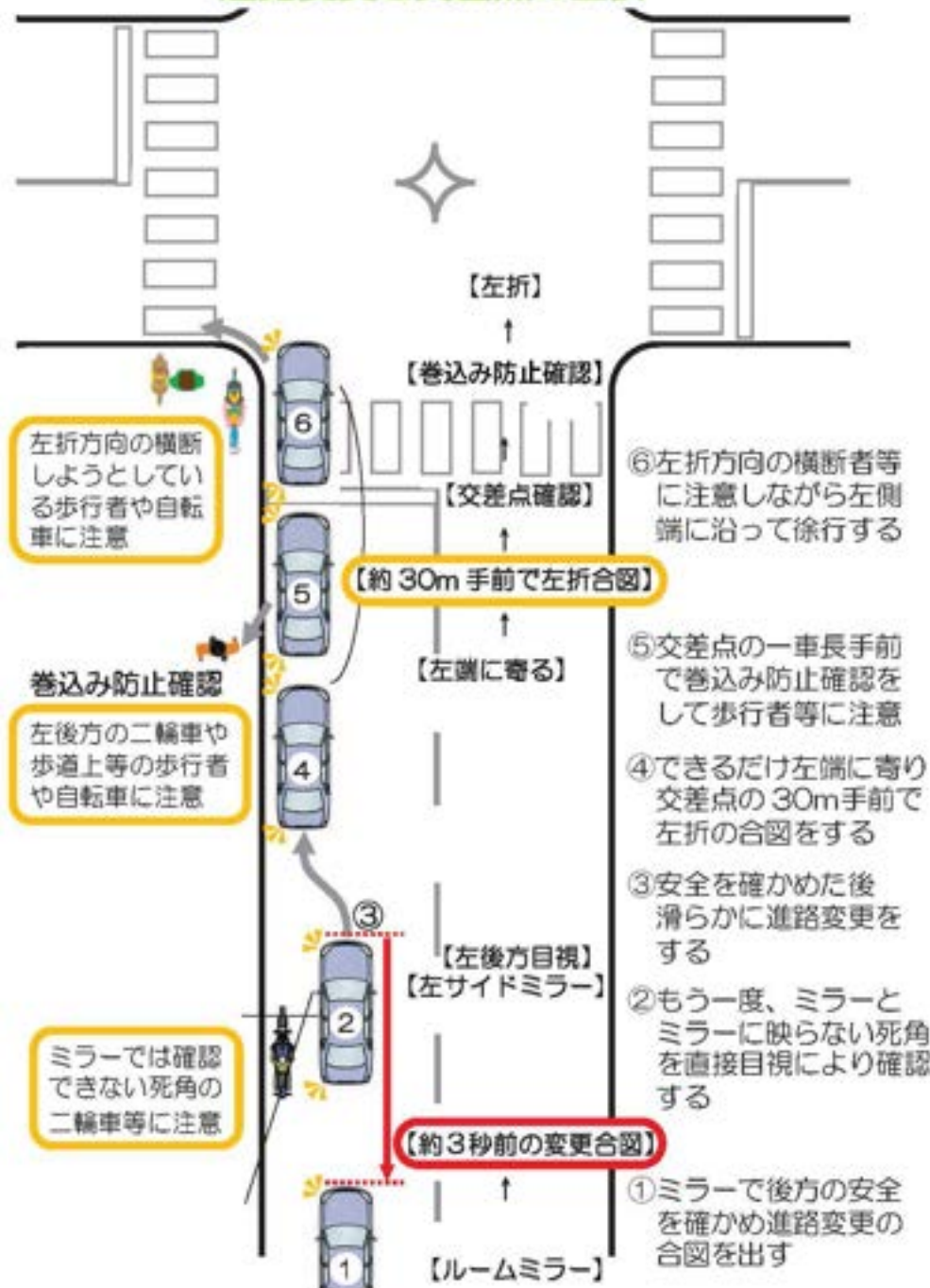
MT車とAT車でのエンジンブレーキのききの違い

MT車（マニュアル車）＞ AT車（オートマチック車）
オートマチック車よりもマニュアル車の方がエンジンブレーキのききがいい。つまりマニュアル車の方が強くききます。

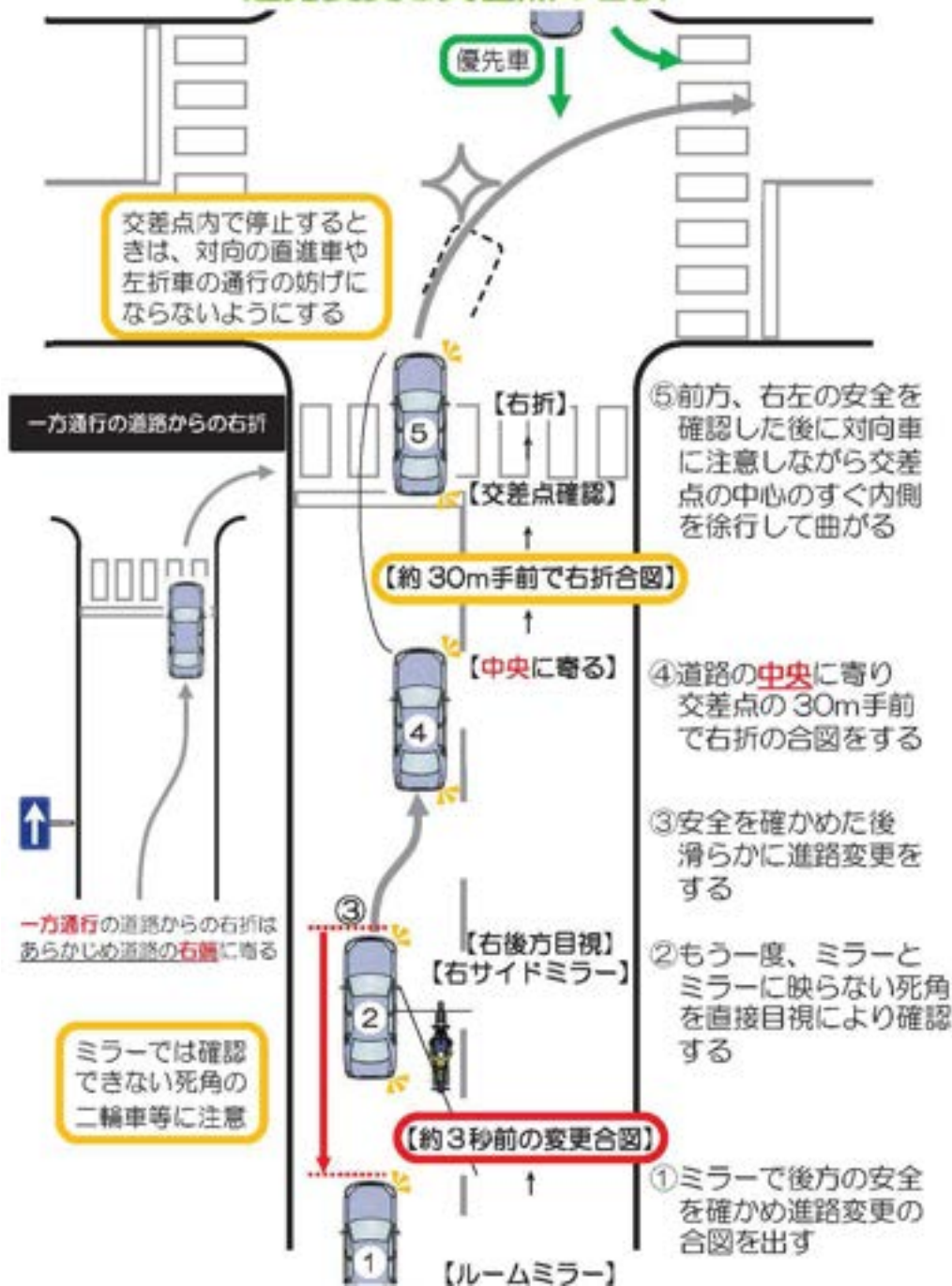
マニュアル車のギアによるエンジンブレーキのききの違い

ローギア	強くきく
セカンド/サードギア	きく
トップ/オーバートップギア	あまりきかない
ニュートラル	きかない

進路変更と交差点の左折



進路変更と交差点の右折



徐行

■徐行の定義

徐行とは、車が**すぐに停止**できるような速度で進むことをいいます。「**すぐに停止できるような速度**」とは、一般的にブレーキを操作してからおおむね1m以内で止まれるような速度で、10km/h以下の速度であるといわれています。

■徐行すべき場所

車は、つぎの場所を通行するときは、徐行しなければなりません。

①徐行の標識があるところ



②左右の見通しがきかない交差点



信号機などによる交通整理が行われている場合や優先道路を通行している場合は除きます

③道路の曲がり角付近



④上り坂の頂上付近



⑤こう配の急な下り坂



■徐行しなければならない場合

- ①許可を受けて歩行者専用道路を通行するとき。
- ②歩行者などの側方通過の時に、安全な間隔がとれないとき。
- ③道路外に出るために、右折や左折するとき。
- ④歩行者のいる安全地帯の側方を通過するとき。
- ⑤安全地帯がある停留所で停車中の路面電車の側方を通過するとき。
- ⑥安全地帯がない停留所で、乗降客がなく、路面電車との間に1.5m以上の間隔がとれる場合に側方を通過するとき。
- ⑦交差点で右折または左折するとき。
- ⑧優先道路、または幅の広い道路に入ろうとするとき。
- ⑨ぬかるみや、水たまりのある場所を通行するとき。
- ⑩身体の不自由な人、通行に支障のある高齢者や児童、幼児の通行を保護するとき。
- ⑪児童・幼児等の乗降のため停車中の通学・通園バスの側方を通過するとき。

視覚特性（二輪車と四輪車の位置関係を知ろう）

【二輪車から見た四輪車】

バックミラーでは
四輪車は見えにくい

四輪車の方向指示器
が見えにくい

四輪車の動きがつか
みにくい



【四輪車から見た二輪車】

A車はよく見える

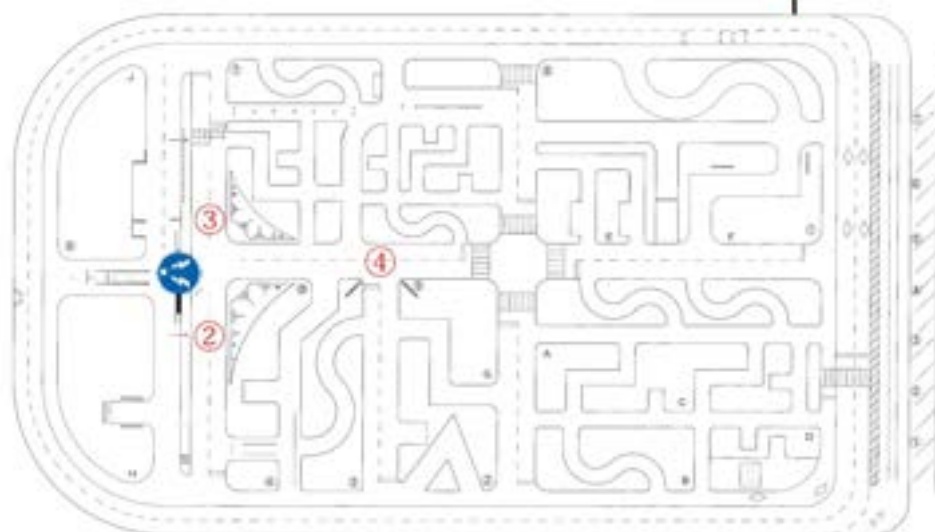
B車の方向指示器は
見えにくい

C車はミラーにうつら
ないので目視が必要



徐行すべき場所

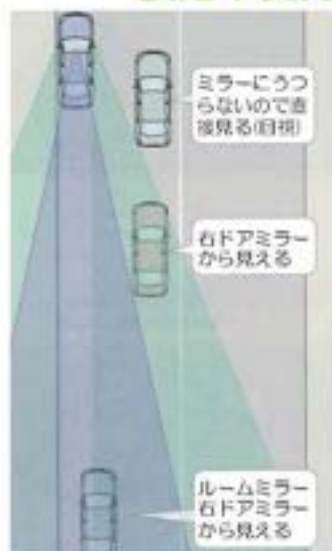
場内練習コース



安全確認あれこれ

- A 車に乗る前の確認
- B 路端から発進するときの確認（縦列駐車も含む）
- C 進路変更するときの確認
- D 左折するときの巻き込み防止確認
- E 交差点を通過するときの左右確認
- F 踏切を通過するときの確認（窓を開けて）
- G 後退するときの確認
 - 1) 後方・・・自分がこれから車を進める方向はもちろん
反対方向も含めて車の後方を見る
 - 2) 周囲・・・後退しながら前方、反対方向等、車の周囲を見る
- H 降車するときの確認

後方や側方の安全確認の仕方



- ・ルームミラーやサイドミラーは後方の確認をするものですが、このミラーで後方がすべて見えるものではありません。
- ・ルームミラー及びサイドミラーで、確認できる範囲を把握しておく必要があります。
- ・ミラーでは確認できない部分を「死角」といいます。この死角の確認は、直接目視により確認します。
- ★ミラー及び目視により確認することで、自車の後方の安全を確保することができます。

合図を行う場合の時期と方法

【合図を行う場合】	【合図を行う時期（場所）】	【合図の方法】
左折・右折・転回	その 30m 手前	方向指示器
進路変更	その約 3 秒前	方向指示器
徐行・停止	しようとするとき	制動灯(ブレーキ灯)
後退	しようとするとき	後退灯

歩行者の保護など

■横断歩道（自転車横断帯）に近づいたとき

車は、横断歩道（自転車横断帯）に近づいたときは、次のように進まなければなりません。

- ①横断する歩行者（自転車）が**いないことが明らか**な場合は、**そのまま進む**ことができます。
- ②横断する歩行者（自転車）が**いないことが明らかでない**場合は、横断歩道（自転車横断帯）の手前（停止線があるところではその手前）で**停止できるように速度を落とす**て進まなければなりません。
- ③歩行者（自転車）が**横断しているときや、横断しようとしているときは**、横断歩道（自転車横断帯）の手前（停止線があるときは、その手前）で**一時停止**して、歩行者に道をゆずらなければなりません。



横断するがはっきりしないとき



横断しようとしているとき



横断しているとき

■子どもや身体の不自由な人などが通行しているとき

車は、次のような場合には、**一時停止か徐行**をして、これらの人が安全に通行できるようにしなければなりません。

- ①子どもが**ひとり**で歩いている場合。

※保護者などの付き添いがいない子どもが歩いている場合のことで、複数の子どもが歩いている場合でも同様。



- ②**身体障がい者用の車いす**で通行している人がいる場合。



- ③**白や黄のつえ**を持った人が歩いている場合。

- ④**盲導犬**を連れた人が歩いている場合。



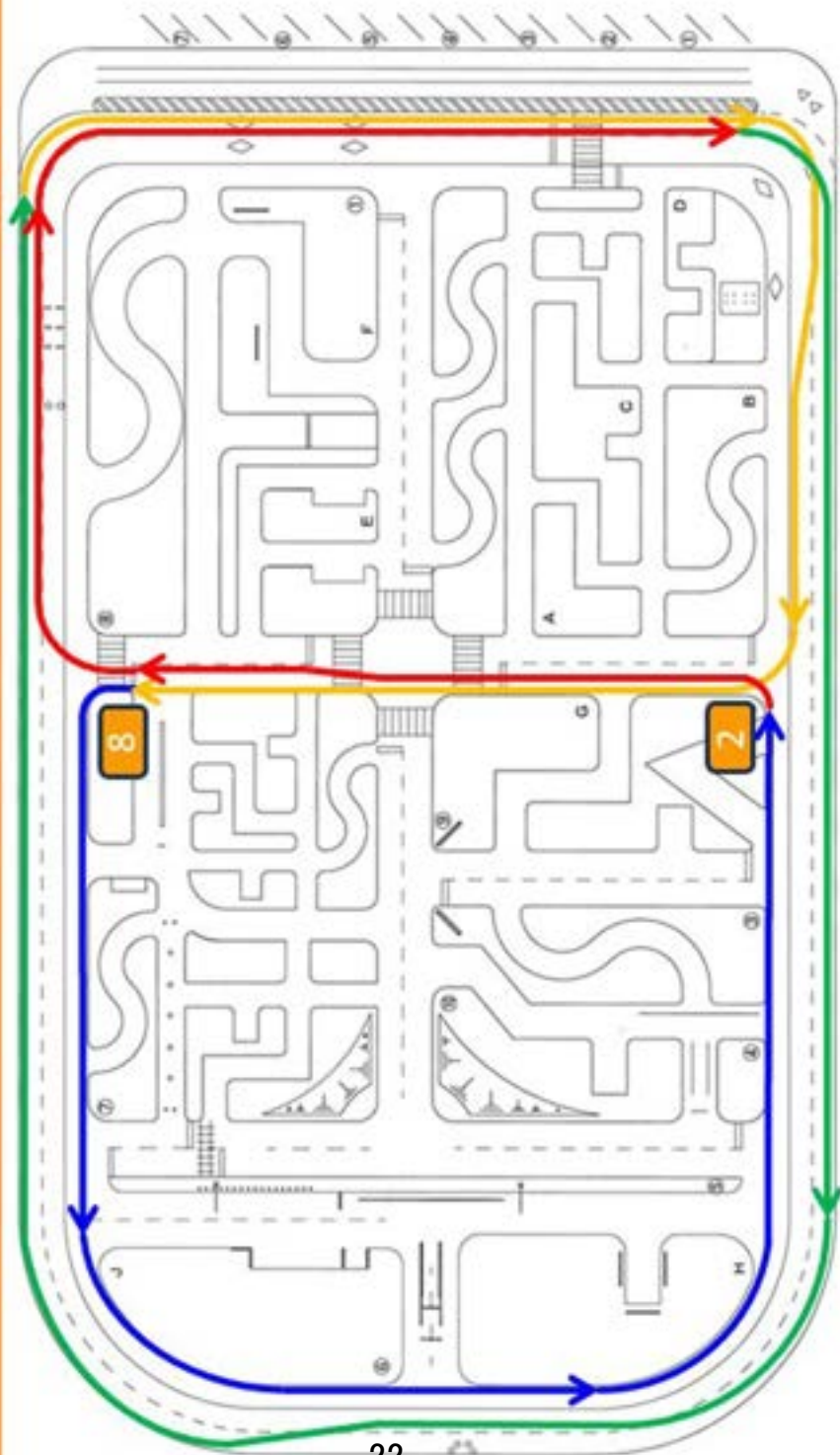
- ⑤つえを持って歩いたり、歩行補助車（高齢者などの歩行を補助する機能を持った車）を使ったり、その通行に支障のある**高齢者**が通行している場合。

- ⑥その他の**通行に支障のある人**が通行している場合。

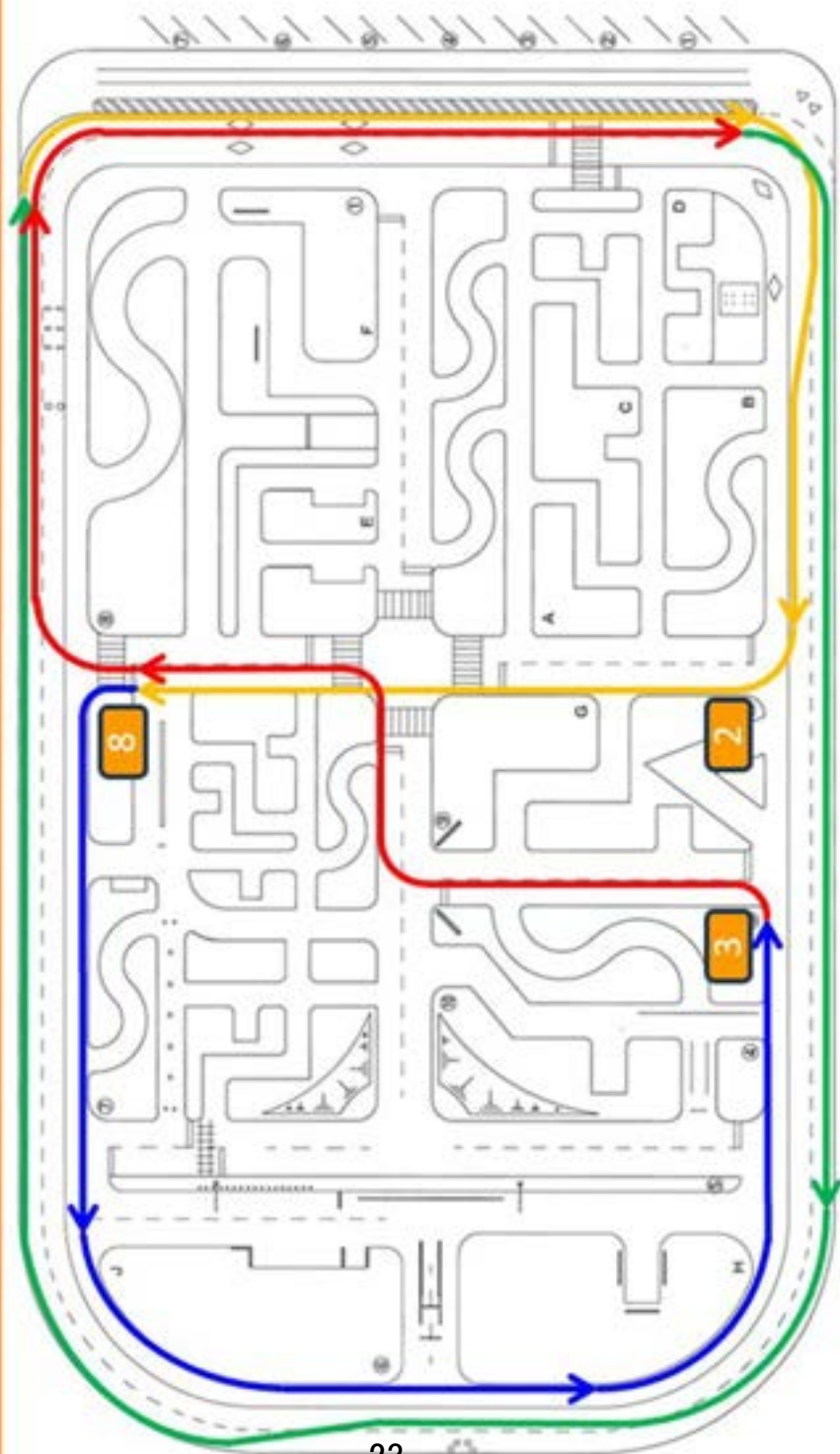
※肢体不自由な人、妊娠婦、松葉づえをついている人など。



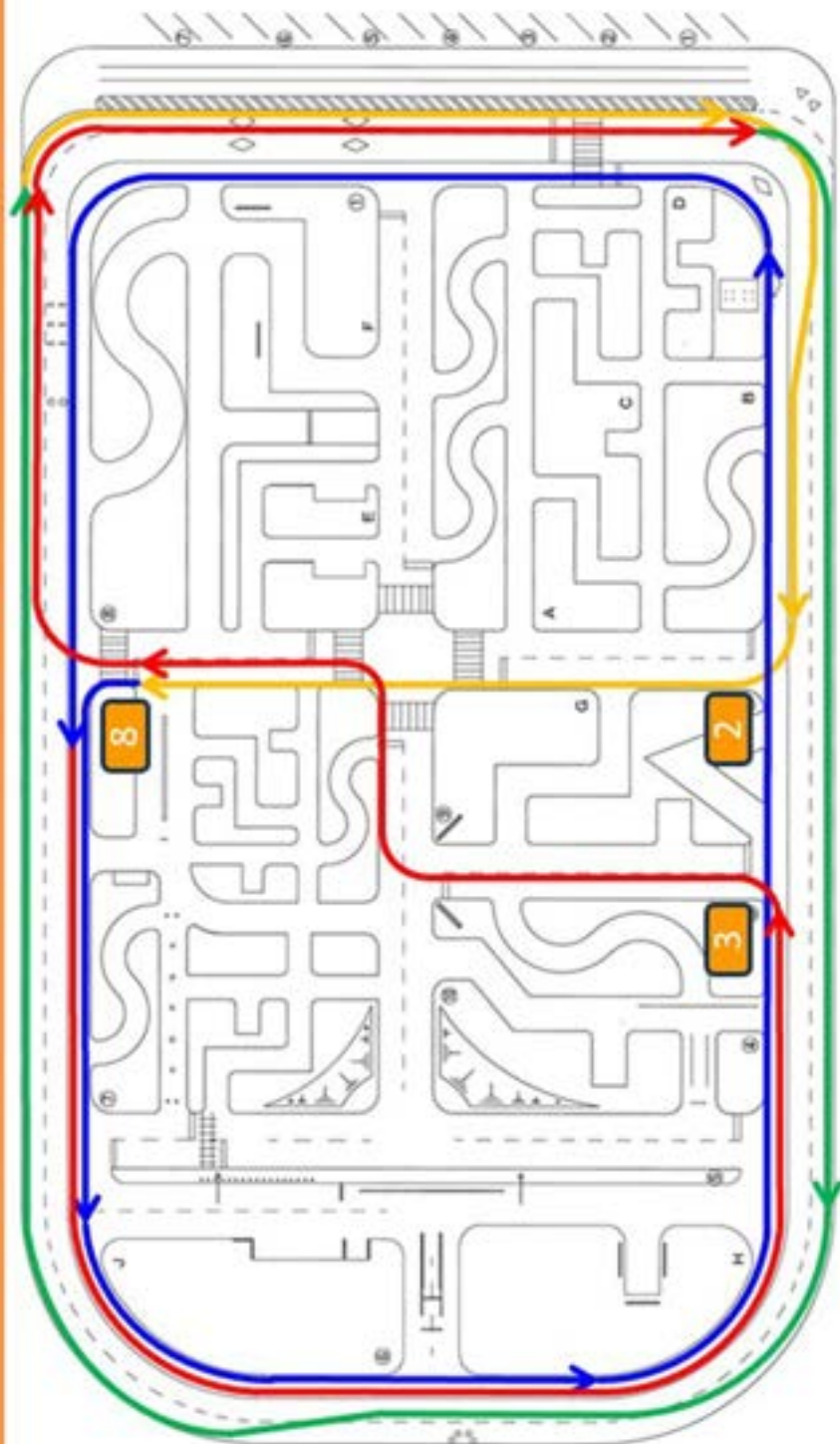
無線練習コース 1



無線 練習コース 2

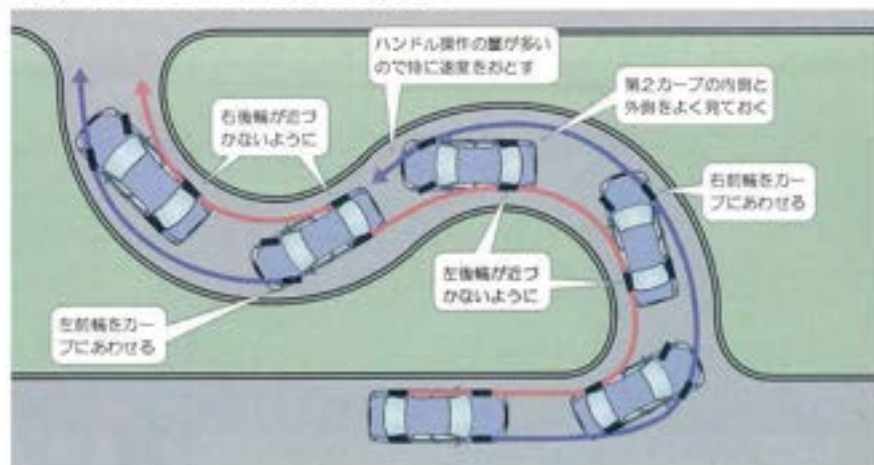


無線 練習コース 3

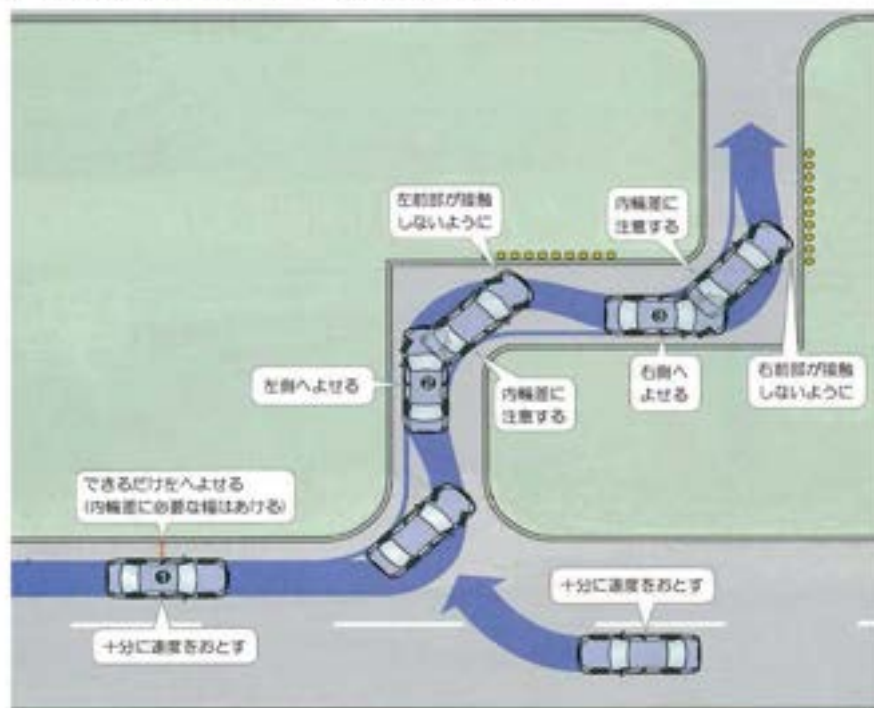


狭路の通行

■曲線（S）コースの通行のしかた



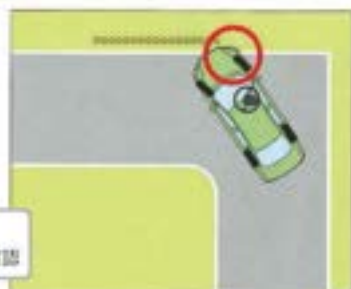
■屈折（クランク）コースの通行のしかた



切り返し・やり直しの仕方

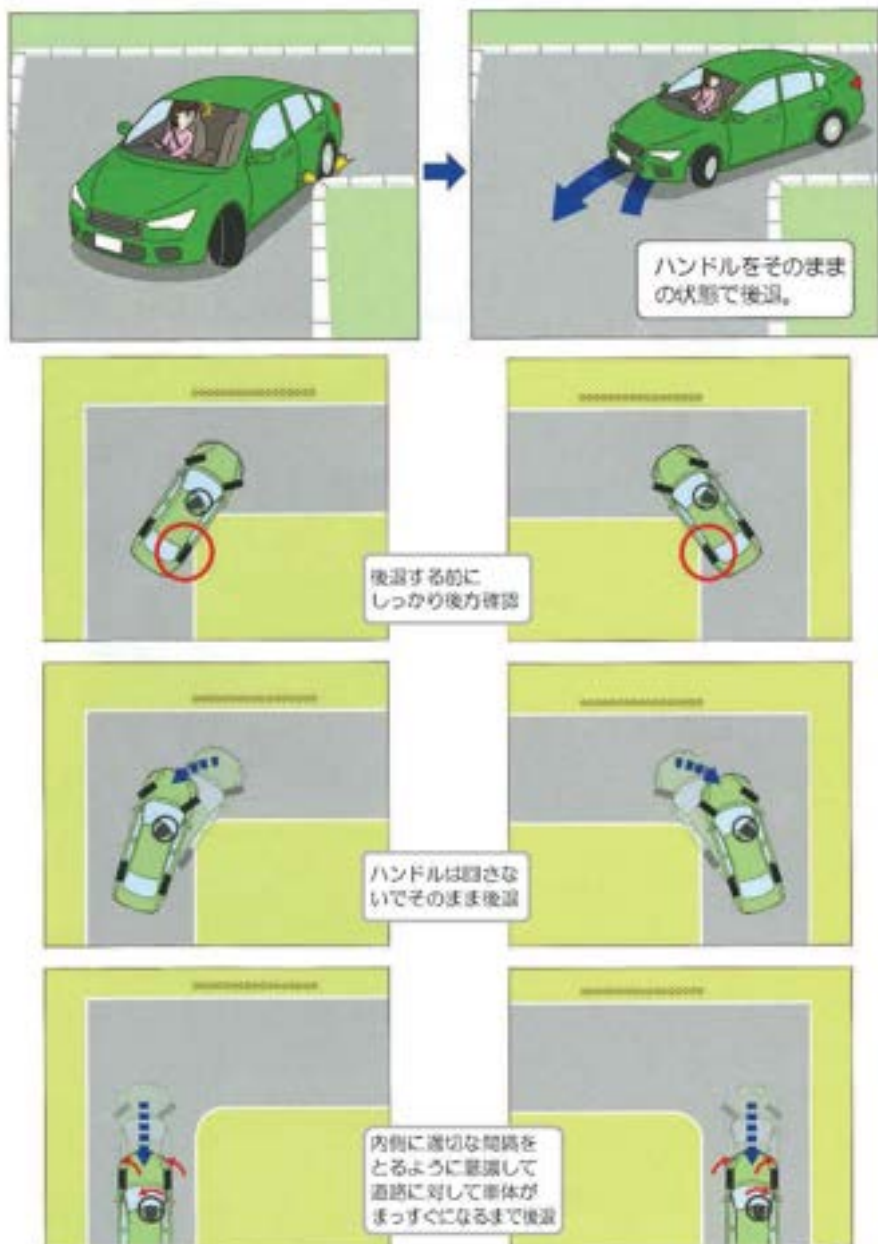
■前車輛（外側）が通れないとき（切り返し）

道幅の狭い曲がり角などで進めなくなったときに、後退や前進を繰り返し、車の向きや位置を変えて通れるようにすることをいいます。

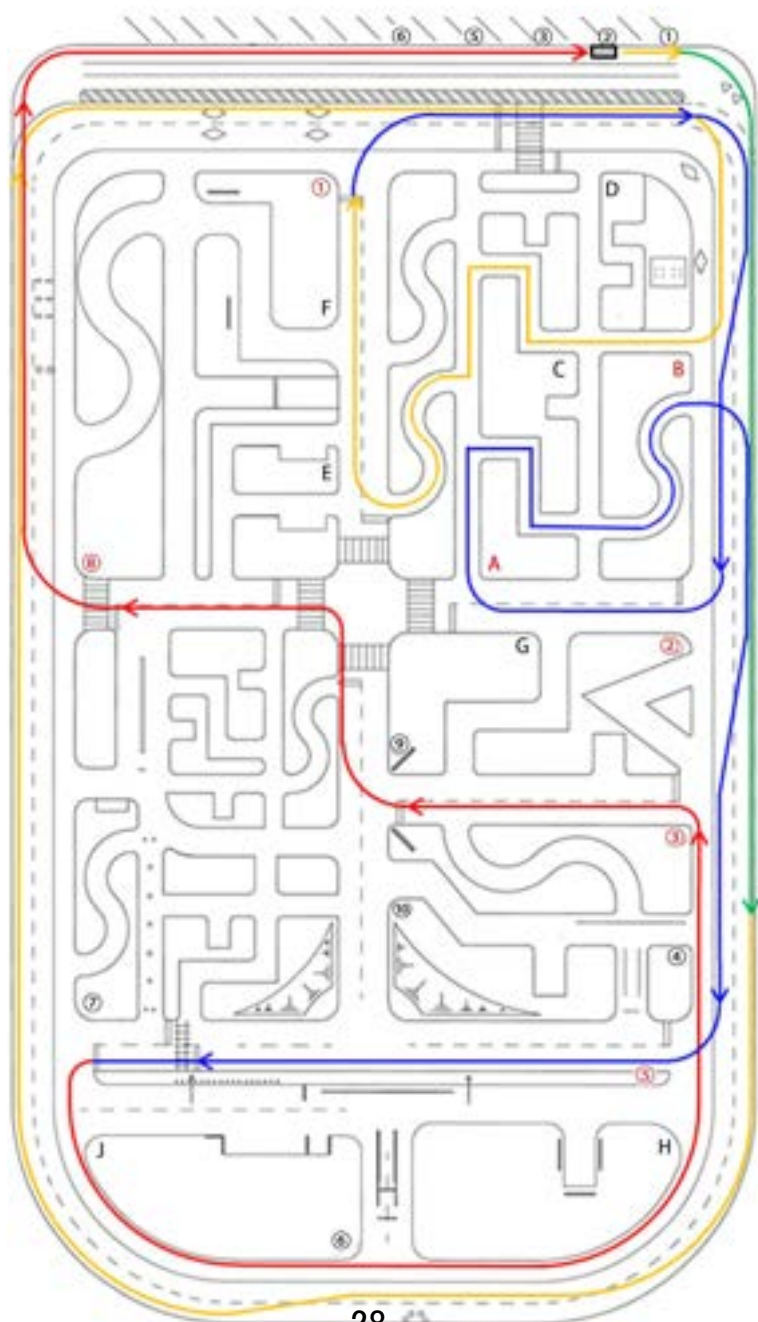


■後車輪（内側）が通れないとき（やり直し）

S字コースもクランクコースも「切り返し」や「やり直し」の方法は同じです。



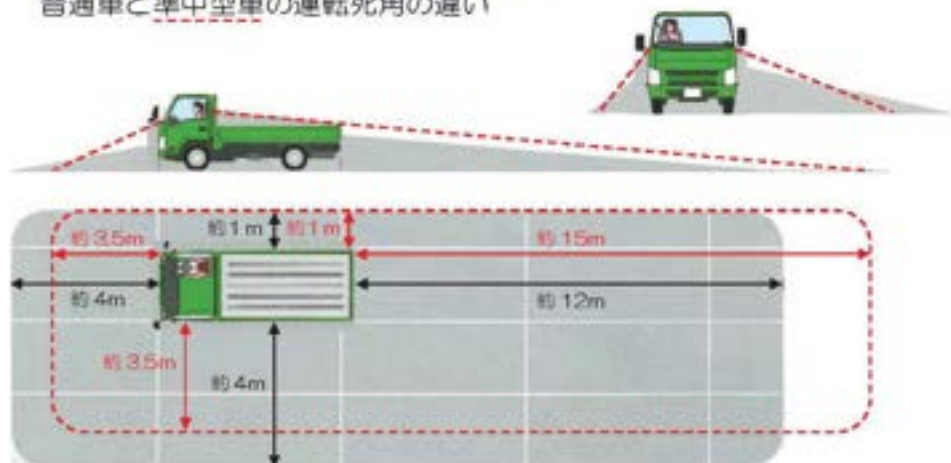
みきわめコース



【準中型車】

【車両特性に基づく運転死角と車両感覚】

普通車と準中型車の運転死角の違い



※貨物自動車は、運転席が高い位置にあり、前方の交通の状況を把握しやすくなっていますが、荷台の形状や積荷の状態によっては、後方のほとんどが死角になります。

【運転装置の取扱い】

●チェンジレバーの動かし方

通常の発進にはセカンドギアを使用します。普通車とギアの配置が違うので注意しましょう。（ローギアは、貨物の積載時等の強い力が必要な時）

前進5速の場合



セカンドギアに入れるとき



まっすぐ前に押す。

【車高感覚の把握の仕方】

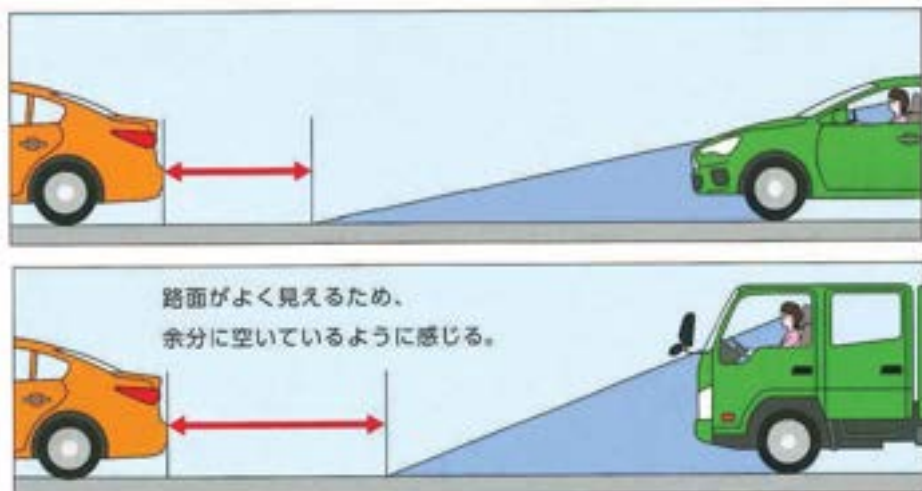
ガード下など高さ制限のある場所での通過や、空荷と積載時の車高の違いなど、「車の高さ」を常に考慮しなければなりません。



※バーの下を通過して車高感覚を体感してみましょう。

【前方距離感覚のとり方、速度感覚のとり方】

運転席が高く、路面を見下ろし広くとらえる視界となるため、実際より車間距離は長く感じ、速度は遅く感じます。意識して車間距離をとり、速度超過にならないよう適時速度メーターで確認しましょう。



仮免前効果測定について

第1段階の学科教習をおおむね受講したところで仮免前効果測定（学科予定表の【効果測定】）を受けてください。効果測定は90点以上で合格です。修了検定前に3回以上合格しないと修了検定を受けることができません。必ず筆記用具（鉛筆又はシャープペン）を準備してください。

まずは、スマホやPCで「エイトラーニングシステムSS」を活用したり問題集を活用したりして学習し、本番前の実力試しに仮免前効果測定を受けましょう。分からないことは何でも質問して、仮免許学科試験一発合格を目指して頑張りましょう！

修了検定及び仮免許学科試験について

◇検定集合時間と場所：7:55又は8:55 第3教室

※教室が変更になる事もありますので、教室棟モニターで確認して下さい

◇準備するもの：運転に適した服装及び履物
眼鏡等（条件のある方）、印鑑
※運転免許証をお持ちの方は運転免許証

◇修了検定に合格した方：修了検定合格発表後に仮免学科試験

◇修了検定が不合格の方：次回の検定日を確認し補修教習1時限以上実施してから後日再検定

◇学科試験に合格した方：第2段階の技能教習前に仮運転免許証交付

◇学科試験が不合格の方：再受験申込みを行い後日学科試験のみ受験（修了検定合格日から3ヶ月以内に学科試験を合格しないと、もう一度、修了検定からやり直しになります。）

◆二輪免許をお持ちの方：当日は修了検定のみになります。合格者は発表後に適性検査を行います（午前中で終了）。

※学科試験を受験された方は、合格発表後に事務手続きがあります。

第2段階 応用走行

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 路上運転にあたっての注意と
路上運転前の準備 | 9. 駐・停車 |
| 2. 交通の流れにあわせた走行 | 10. 方向変換および縦列駐車 |
| 3. 適切な通行位置 | 11. 急ブレーキ |
| 4. 進路変更 | 12. 自主経路設定 |
| 5. 信号、標識・標示などに従った運転 | 13. 危険を予測した運転 |
| 6. 交差点の通行 | 14. 高速道路での運転 |
| 7. 歩行者などの保護 | 15. 特別項目 |
| 8. 道路及び交通の状況にあわせた運転 | 16. 教習効果の確認（みきわめ） |

路上教習実施上の注意点

- 仮運転免許証は、教習手帳に貼付して返却しますので、自身で管理し紛失したり汚したりしないように注意してください。
- 路上教習中や路上練習中は、仮運転免許証を必ず携帯してください。
- 運転練習をするときは、車の前後に『仮免許練習中』の標識をつけ資格ある者の指導の下に行ってください。
- 法令を守って安全運転に努めてください。
- 仮運転免許証の有効期限は適性試験合格後から6ヶ月です。期限を過ぎると卒検が受けられません。
- 第2段階での技能教習は、3時限まで受けることができますが連続3時限はできません。
- 学科25『経路の設計』を受講しないと、『自主経路設定』の技能教習が受けられません。
- 学科26『高速道路での運転』を受講しないと、『高速道路での運転』の技能教習が受けられません。夜間の時間帯は実施できません。
- 学科12～14『応急救護処置』は連続受講しなければなりません。実技もありますので、服装には注意してください。
- 『危険を予測した運転』は実技と学科のセット教習で、学科11『危険予測ディスカッション』を連続して受講しなければなりません。
- 学科16『適性検査結果に基づく行動分析』を受講するときは、入校時に受けた運転適性検査の結果「OD式安全性テスト 診断書」を必ず持参してください。

Aコース(沢辺ルート)1時限目

項目1 路上運転にあたっての注意と路上運転前の準備

項目2 交通の流れに合わせた走行

・所内と路上の違い

・日陰点検

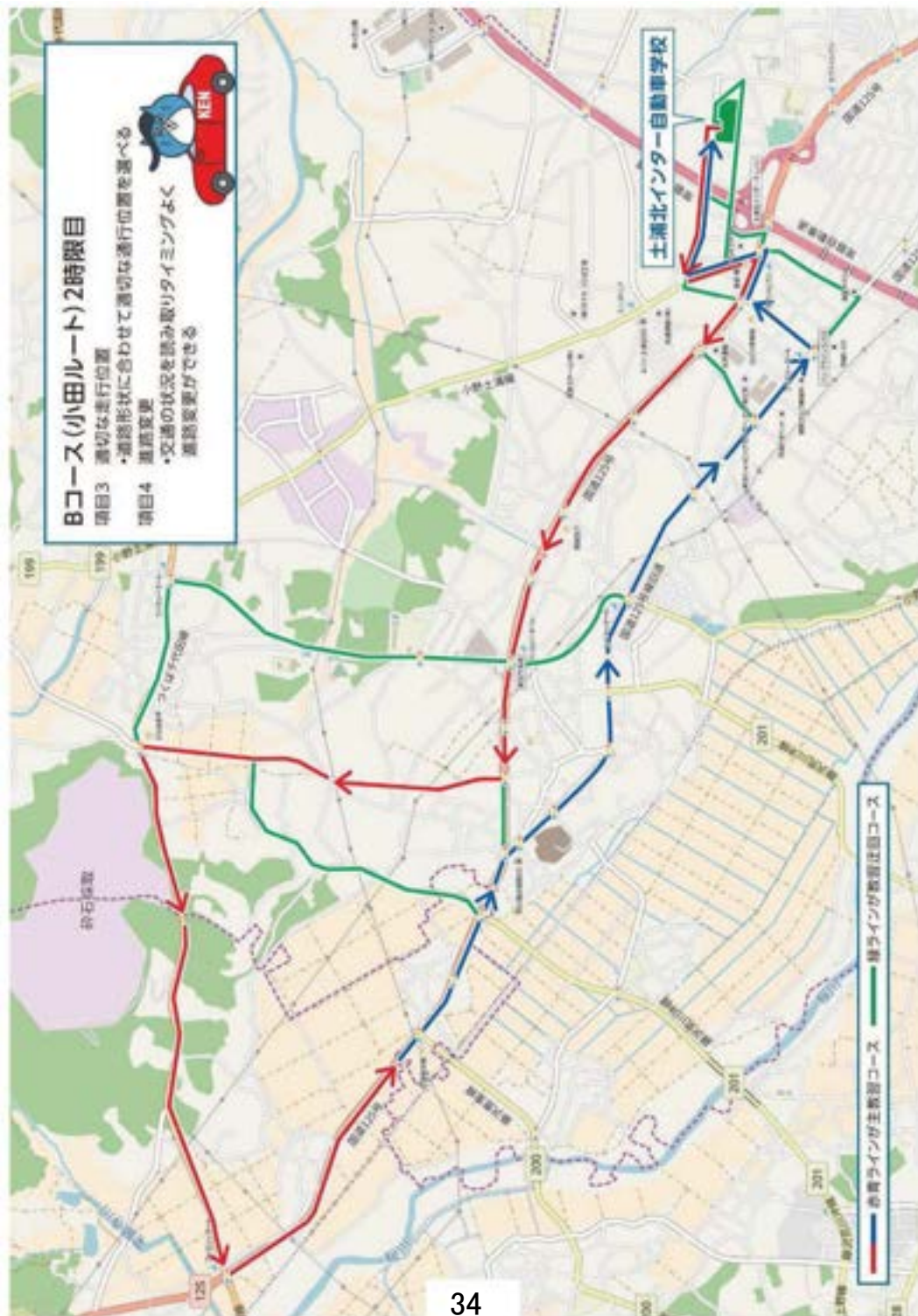
・交通の流れに合わせた走行

・適切な車距距離



土浦北インター自動車学校

赤色ラインが主幹道コース 緑色ラインが副道は別コース



Cコース(木田余・真鍋ルート)3時限目

項目5 信号、標識、標示等に従った運転

・信号、標識、標示等を的確に読み取り、適切に対応できる

項目6 交差点の通行

・交差点とその付近の交通に対する

配慮ができ、安全な速度と

方法で通行できる



土浦北インター自動車学校

赤黄緑ラインが主幹道コース 緑ラインが副幹道コース

Dコース (高岡・藤沢コース) 4時限目

項目5 信号、標識、標示等に促った運転

・信号、標識、標示等を的確に読み取り、

適切に対応できる

項目6 交差点の通行

・交差点とその付近の交通に対する

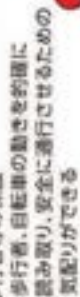
気配りができ、安全な通過と

方法で通行できる



土浦北インター自動車学校

赤青ラインが主幹道コース 緑ラインが支線道路コース



Ｅコース(小山崎ルート)5時限目

項目8 道路及び交通の状況に合わせた運転

- ・道路及び交通の状況を読み取り、それに合わせた運転ができる



土浦北インター自動車学校

赤青黄ラインが主要道路コース 緑ラインが教習道路コース

Fコース(本郷ルート)6時限目、9時限目、11時限目

項目9 駐・停車

・道路や交通の状況に応じて、駐・停車ができる

項目12 自主経路設定

・自主的に走行経路を設定し、他の交通に気配りをしながら主体的な運転ができる

項目13 危険を予測した運転(セーフ運転)

・他の交通との関わりにおける危険を的確に予測し、危険を回避する運転行動を選べる



土浦北インター自動車学校

赤ラインが主幹道コース 緑ラインが教習所回コース



Gコース(つくばルート)13時限目、14時限目

項目12 自主経路設定

- ・自主的に走行経路を設定し、他の交通に
配慮しながら主体的な運転ができる



土浦北インター自動車学校

赤青黄ラインが主幹道コース 緑ラインが教習は道コース


 エコース(小山崎ルート)
 15時限目、17時限目、18時限目

土浦北インター自動車学校

 赤ラインが主幹道コース
 緑ラインが副道は別コース

安全な車間距離の目安

■車は急に止まれません。だから安全な車間距離が必要です。

運転中、運転者が危険を感じてから車が完全に停止するまでには、かなりの距離が必要です。常に安全に停止できる車間距離を考えて運転しましょう。

■車の停止距離（普通乗用自動車での乾いた舗装道路での急ブレーキの場合）



※路面が濡れている場合は約2倍、路面が凍結している場合は約3倍、乾燥した路面に比べて停止距離がのびることがあります。

■車間距離の考え方

「速度の数字から15を引いた数字分の距離以上」が安全な車間距離の目安です。

■歩行者などの保護

歩行者などの側方通過の際の注意点

- 1) 歩行者などの動きを読み取る
- 2) 歩行者などの側方通過時の安全な速度と側方間隔
- 3) 横断歩道などでの歩行者などへの対応
- 4) 横断歩道でない場所での歩行者などへの対応

■行き違いをするときの意思表示の仕方

○ゆずる時の意思表示の仕方

- ・手をあげる ・パッシングする ・ライトを消す（夜間）
- ・相手の意思表示を見逃さない

○ゆずってもらった時の意思表示の仕方

- ・頭を下げる ・軽く手をあげる ・ハザードランプ（後車へ）

駐車と停車

■駐車の意味

①車が**継続的**に停止すること



客待ち・荷待ち



5分を超える荷物の積みおろし



故障・その他の理由

②運転者が車から**離れていて、すぐに運転できない状態**で停止すること



■停車の意味

停車とは、駐車にあたら**ない**短時間の車の停止をいう



人の乗り降り



5分以内の荷物の
積みおろし



車から離れない停止



車から離れてもすぐ
に運転できる停止

■路上での駐・停車場所の選び方

●禁止場所ではないか ●迷惑にならない止め方 ●止めやすく、出やすい場所か

■駐停車禁止の場所



標識・標示による
禁止場所



軌道敷内



坂の頂上付近や
こう配の急な坂



トンネル



交差点とその側か
ら5m以内の場所



曲がり角から
5m以内の場所



横断歩道と自転車
横断帯とその側か
ら前後5m以内の場所



踏切とその側
から前後10m
以内の場所

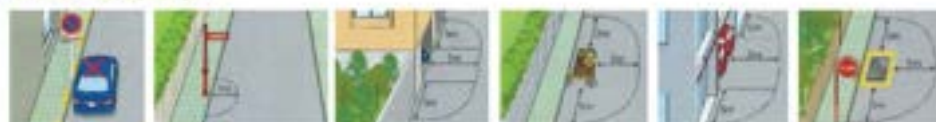


安全地帯の左側と
その側から前後
10m以内の場所



バス等の停車所の
標示板から10m
以内の場所

■駐車禁止の場所



標識・標示による禁止場所

火災報知器から1m以内の場所

自動車用の出入口から3m以内の場所

道路工事区域の側から5m以内の場所

消防用機械器具置場出入口から5m以内の場所

消防用防火水槽等の取入口から5m以内

■無余地駐車の禁止

車の右側の道路の上に3.5m以上の余地がない場所では駐車できない。しかし、荷物の積みおろしで運転者がすぐに運転できる又は傷病者の救護のためやむを得ないときは例外。

■駐車と停車の方法



- ①歩道や路側帯のない道路では、**道路の左端**に沿う。
- ②歩道のある一般道路では、**車道の左端**に沿う。（車道外側線がある場合も同じ。）
- ③路側帯のある一般道路では、路側帯の幅が0.75m以下の場合、**車道の左端**に沿う。
- ④路側帯の幅が0.75mをこえる場合は、路側帯に入り、車の左側に歩行者の通行のため**0.75m以上の余地**をあける。ただし、路側帯の幅が広い場合でも、2本の実線の路側帯（**歩行者用路側帯**）又は実線と破線の路側帯（**駐停車禁止路側帯**）では、路側帯の中に入らず**車道の左端**に沿う。
- ⑤高速道路で故障してやむを得ず駐停車する場合は、路側帯に入って**道路の左端**に沿う。
- ⑥道路に平行して駐停車している車と**並んで駐停車しない**。（**二重駐停車の禁止**）
- ⑦標識や標示により駐停車の方法が指定されているときは、**その方法に従う**。

■長時間駐車の禁止

- ①道路を車庫がわりに使用してはならない。
- ②道路の上に駐車する場合は、同じ場所に引き続き**12時間以上**（夜間は**8時間以上**）駐車してはならない。（※夜間とは、日没時から日の出時までをいう。）

■車から離れる時の措置

- ①危険防止のための措置
 - ・パーキング（駐車）ブレーキをかけ、エンジンを止める。
 - ・AT車は、場所に関係なくP。MT車は、平地や下り坂ではギアをR、上り坂では**1（ロー）**に入れる。坂道では**横止め**をする。
- ②盗難防止のための措置
 - ・エンジンを止め、エンジンキーは**携帯**する。
 - ・窓を確実に閉め、ドアを**ロック**する。
 - ・盗難防止装置があるときはそれを作動させる。

進路変更が必要な場合

路端から発進するとき



路端へ駐停車するとき



障害物などを避けるとき



車線を変えるとき



右折するとき



左折するとき



合流するとき



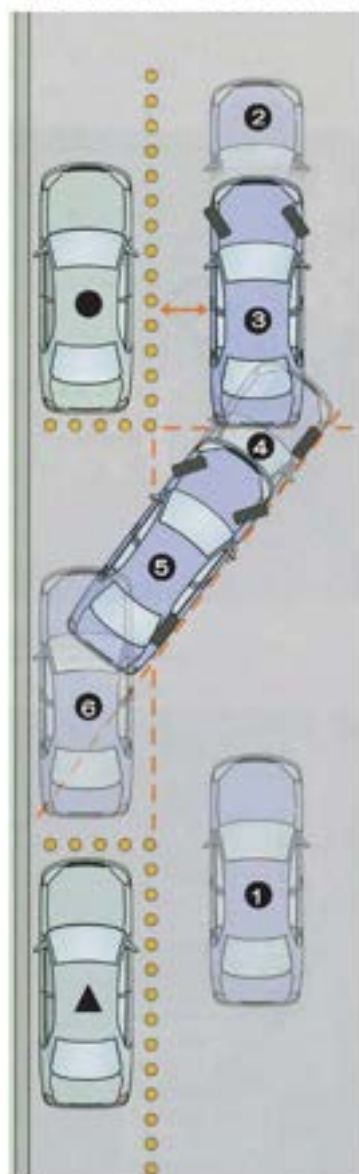
追い越しをするとき



縦列駐車

■縦列駐車とは・・・

道路上等で、前後の限られたスペース（車と車の間）に車を止めることを縦列駐車といいます。停車後に発進して駐車範囲から出るまでが課題です。



◎これからバックして車を駐車する場所をよく見ておく。（奥行や左右の幅）

①駐車車両●と約1mの側方間隔をとり少し前に出て、平行に止める。バックする前に周りの安全確認（左後方と右後方）をする。後退時はシートベルトを外しても構わない。

②まっすぐバックし、駐車車両●に並んだ位置（後端が同じ位置）でハンドルを左にまわし始める。

③安全な間隔があるかサイドミラーで左後方を確認し、駐車車両との間隔を確かめる。

④入りやすい角度（右のドアミラーに後ろの車全体が映る状態）になったら、タイヤがまっすぐになるようにハンドルを右に戻す。

⑤右後部が前後の駐車車両の右側面延長線上にきたら、左前部を確認しながらハンドルを右にまわす。入ることができるか確かめる。

⑥車体が駐車範囲にまっすぐになるまで、後方の間隔に注意しながらバックする。まっすぐになったらハンドルはそのままで車を止め、P及びハンドブレーキを引く。MT車はニュートラル及びハンドブレーキを引く。

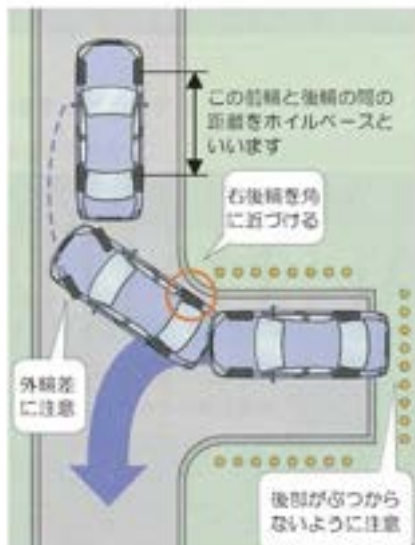
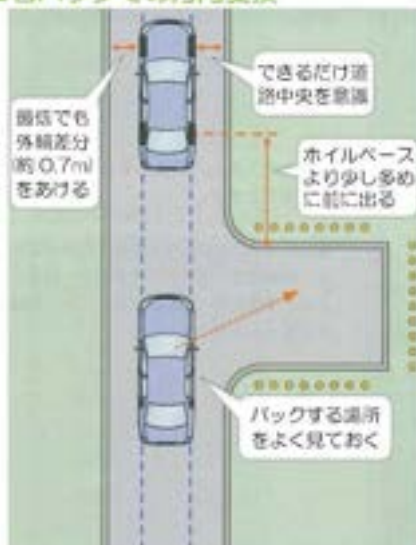
★駐車措置をとった後は、シートベルトを装着し、周囲の確認、発進合図を忘れずに行い発進手順通りに駐車範囲から出る。

方向変換

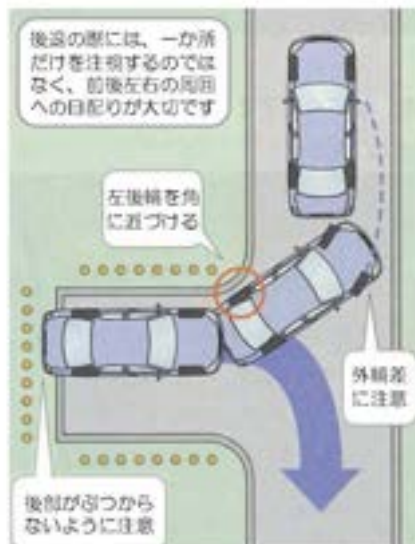
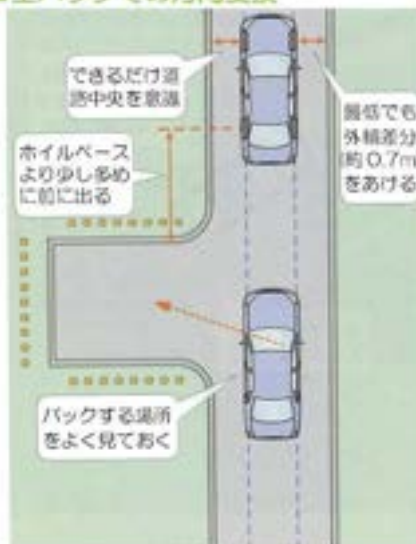
■方向変換とは・・・

狭い道路で、脇道を使って車の進行方向を変えたり、駐車場等に直角にバックしたりする場合の練習です。向きを変えて出るまでが課題です。

■右バックでの方向変換



■左バックでの方向変換

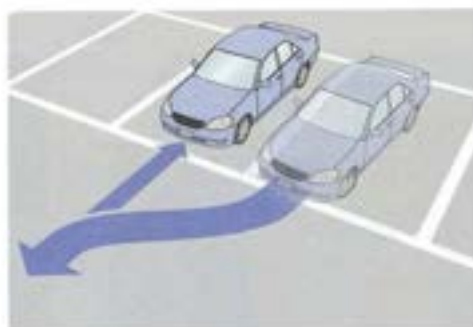
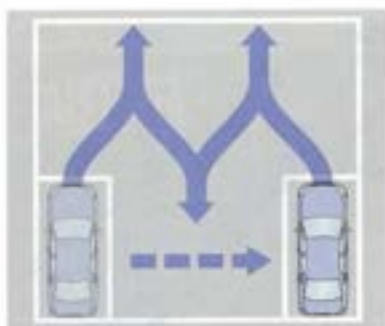


★方向を変えて出る際は、シートベルト、左右の確認、合図を忘れない。

幅寄せの仕方

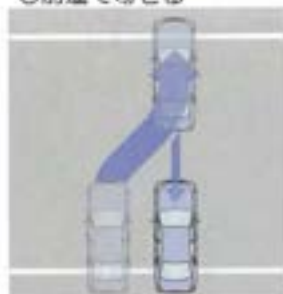
■幅寄せとは・・・

前後の限られた狭い場所で、前進や後退をしながら側方に移動することを行います。

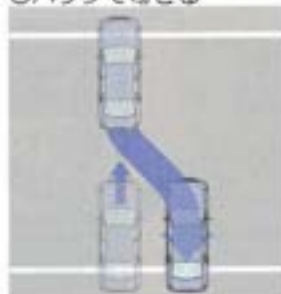


■寄せ方の種類

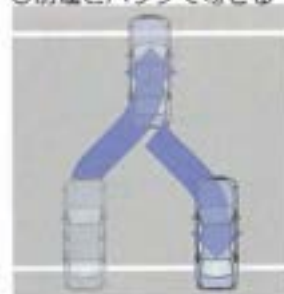
○前進で寄せる



○バックで寄せる



○前進とバックで寄せる



■幅寄せのポイント

短い距離で大きく向きを変えるには、ゆっくり進みながらハンドルは大きく素早く操作するのがコツです。

A T車はクリーブ現象で、MT車は断続クラッチで遅い速度を保ちます。駐車場等で後退の際には、よくこの幅寄せで修正しながら駐車枠に車を納めます。様々な場面で活用できますので、しっかり習得しましょう。

危険を予測した運転

■危険予測の必要性

私達はごく自然に危険を予測して回避しながら生活しています。車の運転でも同様に、自分も他人も危険にならないように隠れた危険を予測して事前に回避できるようにしなければなりません。

■危険予測の仕方

「早く的確に情報をとらえる」⇒「危険を予測する」⇒「適切な操作をする」

■お互いの運転をよく観察して、気付いた点をメモしましょう。

高速道路での運転

高速走行の特性を知り高速道路で安全運転できるようにします。

■高速走行前の点検の仕方

- 燃料・・・・・・・・・・量が十分にあるか
- 冷却水・・・・・・・・・・量は規定の範囲内か、水漏れはないか
- タイヤ・・・・・・・・・・空気圧は適当か、溝の深さは十分か
- ファンベルト・・・・・・・・・・張り具合は適当か、損傷はないか
- エンジンオイル・・・・・・・・・・量は規定の範囲内か
- 携行品（ETCカード、停止表示器材）

■高速教習ルート

【土浦北IC】（いわき方面へ）⇒【千代田石岡IC】
【千代田石岡IC】（東京方面へ）⇒【土浦北IC】の往復です。
途中にある【千代田PA】にも入り、駐車の実習なども行います。
事故や悪天候等により通行止めや速度規制が行われた場合は、運転シミュレーターによる高速教習を行う場合があります。

■ブースの選び方と通過の仕方

- ・青ランプのブース又はETC専用ブースを選ぶ
- ・急に進路を変えないようにし、進入速度は20km/h以下

Pick up （豆知識として知っておこう）

■空気圧が低いと・・・

スタンディングウェーブ現象

タイヤの空気圧が低い状態で高速走行を続けると、タイヤが過熱しバースト（破裂）する危険性があります。



■雨の日の高速走行で・・・

ハイドロプレーニング現象

水だまりを高速走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、車が浮いて走行するような現象のことをいいます。



卒検前効果測定について

第2段階の学科教習をある程度受講したら、仮免前効果測定の時と同様に問題集やスマホで練習問題を実施してください。その後、第2段階の学科教習をおおむね受講したところで『卒検前効果測定』を受けてください。効果測定は90点以上で合格です。3回以上合格し、回答用紙を検定日前日までに提出をしないと卒業検定を受けることができません。必ず筆記用具（鉛筆又はシャープペン）を準備してください。分からないことは何でも質問して本試験も一発合格目指して頑張りましょう！

卒業検定について

◇検定集合時間と場所：7:55又は8:55第4教室

※教室が変更になる事もありますので、教室棟モニターで確認して下さい

◇準備するもの：仮運転免許証、運転に適した服装及び履物
印鑑、眼鏡等（条件のある方）
※運転免許証をお持ちの方は運転免許証

◇卒業検定に合格した方：12:00～又は13:00～卒業式

◇卒業検定が不合格の方：次回の検定日を確認し補修教習を1時間以上実施してから後日再検定

卒業式

◆お渡しする書類（免許センターにすべてお持ちください）

□卒業証明書（有効期限は、卒業検定合格日から1年間）

□写真（申請用にご使用いただけます。たて3cm×よこ2.4cm）

□運転免許申請書（免許なし・原付免許所持の普通車の方は1,750円分、二輪免許所持の普通車の方は3,800円分、免許なし・原付免許所持の準中型車の方は1,550円分、普通免許所持の準中型車の方は3,600円分の県証紙が貼付してあります。）

□お預かりしていた住民票等

◆運転免許センターでの学科試験の申請時に必要な書類（上記の書類の他に）

□運転免許証（原付、二輪車、普通車等の免許所持者）

□仮運転免許証

□身分を証明できるもの（健康保険証、パスポート、学生証等）

□質問票

◆運転免許センターでの学科試験に合格して運転免許証の交付時に必要なもの

□印鑑

□交付手数料2,050円

↑免許センターへお出かけの際には、もう一度持ち物をチェックしましょう！

二輪車関係の重要ポイント

【正しい運転姿勢】

- ① 二輪 顔 …… あごをひき、目は前方を広く見る。
 肩 …… 力を抜き、自然に背筋を伸ばす。
 ひじ …… 腕の力を抜き、ひじを軽く内側にしぼる。
 手 …… グリップの中央部分をにぎり手首に自然な角度を持たせる。
 腰 …… 座る位置は、腕や足の動きに無理のない位置に座る。
 ひざ …… 両ひざでタンクを軽くはさむ。(ニーグリップ)
 足 …… ステップに土踏まずを乗せ、つま先を前方足の裏をほぼ水平に向けする。



【二輪車の選び方】

- ① 平地でセンタースタンドを立てることが案にできること。
 ② 二輪車にまたがったとき**両足**のつま先が地面に届くこと。
 ③ 8の字に押して歩くことが完全に見えること。



AT二輪車
(スクータータイプ)



MT二輪車
(スポーツタイプ)



【オートマチック二輪車の運転時の注意】

- A) 発進時の注意 クラッチ操作がない分、スロットル(アクセル)を急に回すと急発進する危険性があるので注意しましょう。
 B) 低速で走行するとき オートマチック二輪車に無段変速装置が採用されている場合、エンジンの回転数が低いときには、**車輪にエンジンの力が伝わりにくい特性があります。**このため、低速で走行している際にエンジンの力が伝わなくなり、安定を失うことがあるので注意しましょう。また、**エンジンブレーキがききにくい**といった特性もあります。



【二輪車の特性、乗車姿勢と走行のしかた】

1 二輪車の特性

- A) 重心と安定性 人が二輪車に乗ると、**人車一体の重心**ができます。この人車一体の重心からの重力と他の力(遠心力等)の合力の作用線がタイヤの接地点の線上にある状態が二輪車の安定走行です。
 B) 乗車姿勢と操縦性 安定走行の要領は、車の変化にあわせて人車一体の重心を移動させることです。**坂道を上るときは前輪の浮き上がりを防ぐため、前傾姿勢をとって人車一体の重心を前に移動します。下り坂では腰を引いて同様にバランスをとります。**悪路では車の変化にあわせて人車一体の重心の移動がスムーズに行えるよう中腰にします。



【正しい乗車姿勢】

MT車（スポーツタイプ）

- A) ステップに土踏まずを乗せて、足先がまっすぐ前方を向くようにし、タンクを両ひざでしめめます（ニーグリップ）。
- B) 手首を下げてハンドルを前に押すような気持ちでグリップを軽く持ちます。
- C) 肩の力を抜き、ひじをわずかに曲げます。
- D) 背すじを伸ばし、視線は先の方へ向けます。



AT車（スクータータイプ）

- A) 前すぎたり後ろすぎたりしないようにシートに着座します。
- B) ステップボードから足先が出ないように、足先をまっすぐ前に向けます。
- C) ひざが外側に開かないよう自然に曲げます。
- D) 手はグリップの中央を持ち、手首は少し角度を持たせます。
- E) 両腕の力を抜き、ひじにゆとりを持たせます。
- F) 両肩および背筋の力を抜き、視線は前方へ向けます。



【走行のしかた】

- (1) 走行位置のとりかた 二輪車は、遠くにいる・速度が遅いとみられやすく、見落とされやすいので、周囲の車両の死角に入らない位置を選んで走行しましょう。また、走行車線上の近くを見る傾向があり道路の左側前方を注視する傾向があります。



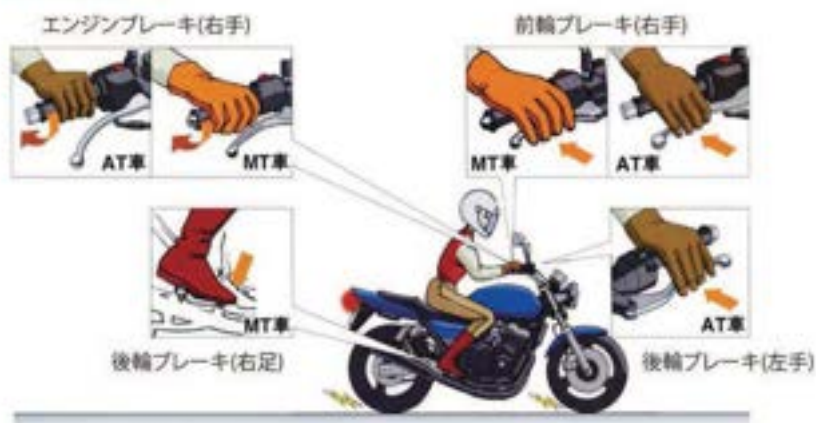
(2) カーブ走行のしかた

- A) カーブに近づくときは、その手前の直線部分であらかじめ十分速度を落とし**カーブの途中ではクラッチを切らない**で、車輪にエンジンの力をかけて走行しましょう。
- B) 曲がるときは、ハンドルを切るのではなく車体を傾ける（バンクする）ことによって自然に曲がるようにします。



【ブレーキのかけかた】

- A) 方法
- ・ブレーキレバーを使う **前輪ブレーキ**
 - ・ブレーキペダルまたはブレーキレバー (AT車) を使う **後輪ブレーキ**
 - ・スロットルのもとし、またはシフトダウン (MT車で低速ギアに入れること) による **エンジンブレーキ**



B) ブレーキをかけるときの注意

- ・ブレーキをかけるときは車体を垂直に保ち、ハンドルを切らない状態で、**エンジンブレーキをきかせながら前後輪のブレーキを同時にかけます**。このとき乗車姿勢を正しく保たないと前のめりになります。
- ・**乾燥路面でブレーキをかけるときは前輪ブレーキをやや強く、濡りやすい路面では後輪ブレーキをやや強めにかけます**。
- ・エンジンブレーキは、低速ギアになるほど制動力が大きくなります。シフトダウンは順序よく行います。
- ・急ブレーキをかけると車輪の回転が止まり、横すべりを起こす原因になります。ブレーキは数回に分けて使しましょう。

【二人乗りをするときの心得】

- (1) 二輪車は、運転者と同乗者が一体とならないとバランスを失い転倒するおそれがあります。同乗者は運転者の動きに反した動きをしてはいけません。
- (2) **二人乗りの禁止** 次の場合には、二人乗りはできません。
 - A) 自動二輪車に後部座席がないものや原付を運転する場合。
 - B) 一般道路では、二輪免許を受けて**1年未満**。
 - C) 高速道路では、二輪免許を受けて**3年未満かつ20歳未満**。



【道路状況の悪いときの運転】

1 めかるみ、砂利道などでの運転

- A) 低速ギアを使い、速度を一定に保ちながら通行しましょう。
 B) 視線をやや前方におき、両ひざを軽く曲げて少し後輪に体重をかけるようにしてステップ上に立ち（中腰姿勢）にし、速度を落としてバランスをとりながら通過します。



【二輪車の保守と手入れ】

(1) 点検する箇所

- A) チェーンがゆるみすぎていたり、張りすぎていたりしないか。
 また適当な注油がなされているか。

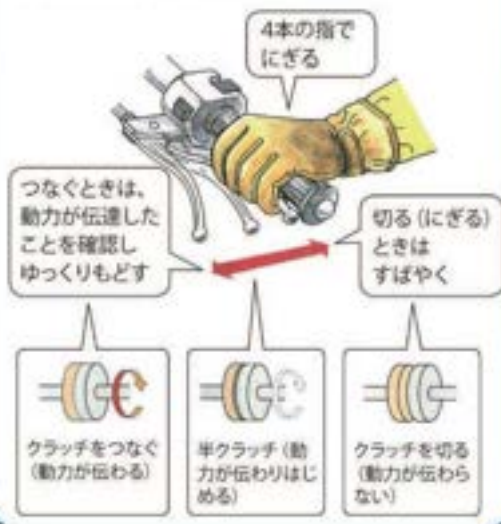


- B) マフラーは完全に取り付けられているか、破損していないか。
 C) 車輪にガタやゆがみはないか。



クラッチレバーの取り扱い方

クラッチレバーは、エンジンの動力を車輪に伝えたり、切ったりするはたらきをします。



IACドライビングスクールの個人情報の取り扱いについて

1. 事業者の名称
株式会社 IAC ドライビングスクール
2. 個人情報保護管理者
お客様からお預かりした個人情報の取り扱いについて、次の者を個人情報管理者として任命し、社内規程に従って適切に管理いたします。(個人情報保護管理者 原田美津弘)
3. 個人情報の利用目的
お客様からお預かりした個人情報は、お客様への教習指導等および講師等の一環として以下の目的で利用いたします。
 - a. 運転免許取得のための入校手続きに関わる業務
 - b. 運転免許取得のための教習指導等およびその申請に関わる業務
 - c. 上記に付随する送迎に関わる業務
 - d. 高齢者講習および各認定講習に関わる業務
 - e. お客様からのお問い合わせに対する回答のため
 - f. お客様の請求に基づいた資料等の送付のため
 - g. お客様からの入校申込みに対する連絡のため
 - h. 各種イベント・キャンペーンや交通安全講習会等の開催の案内等をお知らせするため
 - i. 顧客満足度の向上を図ることを目的として、郵便、電話、電子メール等の方法によりアンケート調査等を実施するため
 - j. お客様が在学する高等学校からの入校者リストの提供依頼への対応のため
4. 個人情報を提供することの任意性について
個人情報のご提供はお客様の任意ですが、ご提供いただけない場合は、ご入校頂けないことがございます。
5. 要配慮個人情報の取得について
ご入校の手続きに際し、行政処分履歴、持病、服薬、妊娠の有無、刺青（タトゥー）の有無についてお問い合わせいたします。
6. 会話の録音について
お客様対応の品質およびサービス向上のため、窓口での会話を録音させていただいております。
7. 個人情報の第三者提供について
お客様の個人情報は、運転免許申請のため管轄警察署、提携するクレジット会社およびお客様が在学する高等学校に提供することがあります。提供する情報は、それぞれのサービスに必要な範囲に制限いたします。
8. 個人情報の取扱いの委託について
個人情報の取り扱いの委託はありません。ただし、お客様への送付物の送付手段として、日本郵便、提携宅配業者等に業務を委託することがあります。
9. 個人情報の開示等について
ご本人からの求めにより、保有するお客様の個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止に応じます。開示等については、下記「個人情報お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。
10. 本人が容易に識別できない方法による個人情報の取得
クッキーやウェブビーコン等、本人が容易に認識できない方法による個人情報の取得は行っておりません。
11. 個人情報の安全管理措置について
取得した個人情報については、規程に従い、漏えい、滅失、毀損の防止のために必要なかつ適切な措置を講じます。
12. 個人情報保護方針
当ホームページの「個人情報保護方針」に掲載しています。
13. 当社の個人情報等の取り扱いに関する問い合わせ、苦情・相談等の受付先
個人情報お問い合わせ窓口
株式会社 IAC ドライビングスクール
電話：土浦北インター自動車学校 029-831-1290

Let's Try License

茨城県公安委員会指定
土浦 **北イン
ター** 自動車学校



第11版 2025.1発行

普通車 準中型車 中型車 大型車 普通自動二輪車 大型特殊車 けん引

IAC Driving School